

			技術基準			
			日本	欧州	米国	標準規格（無線LAN）
			無線設備規則	EN300 328 V2.2.2	47CFR FCC Part 15 Subpart C	IEEE 802.11
周波数について	割当周波数	無線局に割り当てられた周波数帯の中心の周波数をいう。	○無線設備規則第49条の20	○1 Scope	○15.247	○
	周波数の許容偏差	割当周波数からの許容することが出来る最大の偏差をいう。	○無線設備規則第5条 別表第1号	×	×	○
	占有周波数帯幅の許容値	輻射される平均電力が全平均電力の99%に等しい周波数幅をいう。	○無線設備規則第6条 別表第2号	○4.3.2.7.3	×	×
	拡散帯域幅	全電力の90%を占める帯域幅をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号チ	×	○15.247(a)(2)	×
	拡散率	拡散帯域幅を変調信号の送信速度に等しい周波数で除した値をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号リ	×	×	×
スプリアスについて	不要発射の強度の許容値	必要周波数帯外における電波の発射であって、そのレベルを低減できるものをいう。	○無線設備規則第7条 別表第3号第3項 注26	○4.3.2.8.3	○15.247(d)、15.205(a)、15.209(a)	※
出力について	空中線電力	アンテナに入力される電力をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ホ	○4.3.1.2.3	○15.247(b)(3)、15.247e	※
	空中線電力の許容偏差	指定された空中線電力からの許容することが出来る最大の偏差をいう。	○無線設備規則第14条	×	×	×
周波数ホッピングについて	周波数滞留時間	特定の周波数において電波を発射し続ける時間をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ヌ	×	○15.247(a)(2)	×
送信空中線	絶対利得	入力された電力に対する出力の大きさ（電波の放射効率）をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ヘ	×	○15.203、15.247(b)(4)、15.247c	×
	主輻射の角度幅	最大輻射の方向における輻射電力との差が最大3デシベルである全角度をいう。	○無線設備規則第49条の29第1号ト	×	×	×
受信機について	副次的に発する電波等の強度	受信状態において空中線から発射される電波の強度をいう。	○無線設備規則第24条第2項第1号	○4.3.2.10.3	×	×
妨害排除機能について	混信防止機能	他の無線システムが発射する電波を検知した場合に、他のチャンネルへ切り替える機能をいう。	○電波法第4条第1項第3号	×	×	×
	キャリアセンス機能	同一システムにおいて、他の無線局が同一チャンネルを使用している場合に、他にチャンネルへ切り替える機能をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ル（OFDM且つ26~40MHzの場合のみ）数値なし	○4.3.1.7.2(FH) 4.3.2.6.3(非FH)	×	×
信号の伝送について	通信方式	同時に送信を行うことができる者（片方向又は双方向）及びその数（単数又は複数）の別をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ロ	×	×	×
	変調方式	データの伝送に最適な電気信号に変換する方式をいう。	○無線設備規則第49条の20第1号ハ	×	×	○

※各国の技術基準に委任。